平成 22 年 11 月 11 日

各位

東京都新宿区新宿五丁目 6 番 1 号
株式会社東京一番フーズ
代表取締役社長　坂本　大地
（コード番号:3067　東証マザーズ）
問合せ先　専務取締役　平井　隆
電話番号　03-5363-2132（代表）

特別損失計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、特別損失の計上及び平成 22 年 2 月 10 日に公表した平成 22 年 9 月期（平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）の業績予想の修正を下記のとおりお知らせいたします。

記

１．特別損失の計上について

当社は、平成 22 年 9 月期（平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）第 3 四半期末までに減損損失 110 百万円を主因とする特別損失 114 百万円を計上しておりますが、同第 4 四半期におきしても 37 百万円の減損損失を追加計上いたします。

これにより、平成 22 年 9 月期（平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）における特別損失計上額は 155 百万円となります。そのうち、収益性が低い業績の振るわない 15 店舗の固定資産 147 百万円を減損損失として計上いたします。

現況の厳しい経済環境の早急な回復が見込めない状況を保守的にとらえ、適正な会計処理によって計上するものであります。

２．平成 22 年 9 月期　連結業績予想数値の修正（平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	3,300	45	38	5	60 円 21 銭
今回修正予想（B）	3,319	15	27	△60	△728 円 15 銭
増減額（B）－（A）	19	△30	△10	△65	－
増減率（％）	0.6	△66.4	△26.4	－	－
（ご参考）前期実績（平成 21 年 9 月期）	3,597	142	162	23	284 円 25 銭

修正の理由

雇用情勢の低迷によって企業を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。消費者の生活防衛意識の高まりによって、個人消費も低迷を続け回復にはいたっておりません。

このような環境下において、当社は質の高い料理とサービスの提供に努めてまいりましたが、来店客が減少することによって「とらふぐ亭」での売上は減少することとなりました。一方で、当社グループは生産地との連携強化を図るために、活魚・鮮魚の外部への販売によって売上高の確保につとめてまいりました。しかしながら、活魚・鮮魚の卸売業の利幅は飲食業に比して低いことから、当社全体として収益性は低下することとなりました。

当社では、多岐にわたり経費の抑制に努めてまいりましたが減益の計上を見込むこととなりました。加えて、将来の経済環境を保守的に捉えた結果、業績の振るわない 15 店舗の固定資産において 147 百万円減損損失計上することとなります。

＜業績予想に関する注意事項＞

この資料に記載されている業績予想数値については、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従って、実際の業績は、さまざまな要因の変化等により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以上